

2022年10月21日
作成者 渡辺洋一郎

ローツェ（東証プライム・6323）

- ◆ 半導体、FPD等の自動化・搬送装置の開発・製造・販売。
- ◆ 22/3～8期は55%増収。中国が+83%、台湾が+86%とけん引した。半導体関連装置の受注高は+65%。今23/2期は会社計画並みを予想する。
- ◆ 来24/2期は売上・営業利益ともに横ばいを予想。米国の中国に対する半導体関連の輸出規制強化の影響が見通せない。リスクを踏まえた株価評価とした。

株価レーティング
A→B+目標株価
8,300円
(前回17,500円)

主要指標

株価(22/10/20)	6,940円
売買単位	100株
発行済株式数	17,640千株
PER(23/2期予)	5.3倍
PBR(22/2期)	2.6倍
ROE(22/2期)	33.7%
配当利回り(23/2期予)	1.6%
52週高値(22/4/14)	13,580円
52週安値(22/9/30)	6,900円

売上高構成比

(22/2期)	
半導体関連装置	86%
FPD関連装置	6%
モータ制御機器	0%
部品・修理 他	7%
ライフサイエンス事業	1%

◆ 半導体、FPD等の自動化・搬送装置の開発・製造・販売

半導体、FPD（フラットパネルディスプレイ）等の製造工程で使用される自動化・搬送装置の開発・製造・販売。地域別売上構成比（22/2期）は米国31%、中国27%、台湾16%、日本10%、韓国6%など。22/2期の主な販売相手先は米アプライド マテリアルズ（売上構成比24.8%）、台湾TSMC（10.1%）。17/2期から22/2期の5期間で営業利益が約3.5倍に拡大している。

◆ 売上は中国が+83%、台湾が+86%とけん引した

22/3～8期は売上高458億円（+55%）、営業利益109億円（+64%）。主要地域別売上高は米国+21%、中国+83%、台湾+86%。中国では製品力に加え、大手顧客に採用されているブランド力が強みの模様であり、好調に推移している。台湾はファウンドリ向けの販売が好調。半導体関連装置の受注高は559億円（+65%）で、3～5期266億円、6～8期293億円だが、円安の影響を除くと四半期ベースでは高水準横ばい。

今23/2期会社計画は売上高887億円→965億円（前期比+44%）、営業利益247億円→232億円（同+47%）、純利益182億円→228億円（同+78%）へ修正された。当社も会社計画並みを予想する。為替の円安などを背景に売上増や為替差益が発生する見通しだが、売上原価の上昇にも影響する見込み。

◆ 米国の中国に対する半導体関連の輸出規制強化の影響が見通せない

来24/2期は売上高965億円、営業利益232億円と横ばいを予想する。好材料、悪材料が混在しそうだ。半導体需要が落ち込む影響が懸念される。また、10月7日に米国は中国に対する半導体関連装置の輸出規制の強化を発表した。主要顧客は何かしらの影響を受けそうだが、同社への影響がどの程度なのかは見通せない。一方、23/2期末の受注残は600億円台と豊富が見込まれ、生産能力の増強や部品不足が徐々に解消に向かうことで、売上に反映されると思われる。半導体産業への大型補助金の投入は需要に対しプラスだろう。一部の顧客からは短期的な出荷延期の要請があるようだが、顧客へのヒアリングによれば、全体でみると底堅い需要が続く印象があるようだ。

◆ リスクを踏まえた株価評価とした

目標株価は来期予想PER約8倍の8,300円。前回は今期同約15倍の17,500円。月次終値をベースとした過去2年間の予想PERは約5倍～約20倍（平均約15倍）だが、リスクを踏まえた株価評価とした。目標株価の引下げにより、株価レーティングも「A」→「B+」へ引下げる。

業績推移

単位：百万円、1株利益・配当は円

連結	売上高	営業利益	経常利益	利益	1株利益	1株配当
21/2期	50,803	9,314	8,487	6,470	374.4	30
22/2期	67,004	15,809	17,818	12,824	742.1	65
23/2期予	96,466	23,225	30,805	22,793	1,318.9	110
24/2期予	96,500	23,200	23,200	17,200	995.3	110

予：当社予想

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号2210064号）

このレポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

投資判断

株価レーティングおよび目標株価は当該銘柄の今後6カ月間における投資判断です。「A」は「買い」、「B+」は「やや強気」、「B」は「中立」、「B-」は「やや弱気」、「C」は「売り」、「NR」は株価レーティングをしない場合です。なお本文中の「長期」は2年超5年以内、「中期」は6カ月超2年以内、「短期」は6カ月以内を指しています。

「重要な注意事項」

リスクについて

- ・ 国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券（以下「上場有価証券等」といいます。）の売買にあたっては、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動や、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品、カバードワラント等（以下「裏付け資産」といいます。）の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等のうち、他の種類株式、社債、新株予約権その他の財産に転換される（できる）旨の条件または権利が付されている場合において、当該財産の価格や評価額の変動や、当該財産の発行者の業務や財産の状況の変化に伴い、上場有価証券等の価格が変動することや、転換後の当該財産の価格や評価額が当初購入金額を下回ることによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ また、新株予約権、取得請求権が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。
- ・ 新規公開株式、新規公開の投資証券についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等の費用について

- I 国内の金融商品取引所に上場されている有価証券等
 - ・ 国内上場有価証券等(転換社債型新株予約権付社債を除く)の売買にあたっては、約定代金に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。
- II 外国金融商品市場等に上場されている株式等
 - ・ 外国金融商品市場等に上場されている株券等の国内取次ぎ手数料として、海外精算代金（円換算金額）に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。外国株券等の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および租税公課その他の賦課金が加減されます。当該諸費用は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。また外国株券等の国内店頭取引にあたっては、所定の手数料相当額をご負担いただく場合があります。外国金融商品市場等に上場されている株券等は価格変動および為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- III その他
 - ・ 上場有価証券等を募集等により取得する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ・ 上場有価証券等を当社との相対取引により購入する場合は、お客さまと当社が協議のうえ決定した手数料をいただきます。

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における弊社判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。水戸証券もしくは水戸証券の役職員が、記載されている証券について、自己売買または委託取引を行うことがあります。水戸証券は、記載されている企業に対して、引き受け等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。なお、投資にあたっては、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、投資信託説明書（交付目論見書）や目論見書補完書面等をよくお読みください。

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号2210064号）